



平成24年3月28日

各 位

上場会社名
代表者
(コード番号
問合せ先責任者
(TEL

ミナトエレクトロニクス株式会社
代表取締役社長 板津弘典
6862)
常務取締役 須永牧夫
045-591-5611)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成23年8月5日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成24年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,750	40	20	10	0.60
今回修正予想(B)	1,400	△100	△120	△120	△7.25
増減額(B-A)	△350	△140	△140	△130	
増減率(%)	△20.0	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成23年3月期)	1,544	39	12	5	0.33

修正の理由

売上高につきましては、計測関連セグメントの主力でありますデバイスプログラムの売上は東日本大震災の影響などからやや計画を下回る見込みですが、画質検査装置の売上が液晶パネルの価格の大幅な下落により検査装置への投資がほとんどなくなったことから、同セグメントの売上は計画を下回ることが見込まれます。また、システム関連セグメントについても、金融端末向け小型タッチパネルの売上は好調に推移しているにもかかわらず、比較的に利益率の良い大型タッチパネルが震災の影響とともに製品仕様の詰めの遅れなどから見込まれた主な案件の受注が全て順延となったことから計画を大幅に下回る売上となる見込みです。これらの結果、当期の売上高は1,400百万円と予想比350百万円の減収となる見込みです。

営業損益につきましては、売上高の減少により固定費が負担となったことに加え比較的に利益率の良い製品の売上が伸長しなかったことなどにより営業損失100百万円となる見込みです。

経常損益につきましては、営業外損益はほぼ予想どおりに推移していることから前述と同様の事由により経常損失120百万円となる見込みです。

当期純損益につきましては、若干ではありますが特別利益の計上があり、これと法人税等の引当が拮抗することから経常損益と同額の当期純損失120百万円となる見込みです。

なお、上記業績予想の修正を真摯に受け止め、経営責任を明確にするため、取締役全員の報酬について平成24年4月より平均10%の減額を実施いたします。

(注)上記の業績予想は、現在入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上